

島原半島ジオパークリーフレット：温泉と湧水

この地方の火山活動は時に危険の原因となるが、それと同じくらい多くの恵みをもたらしてくれる。地震や火山を起こすのと同じ力のおかげで無数の温泉や湧水の源がある。島原の地形には、こうした力が今も働いているのがわかるあらゆる種類の形跡がある。

千々石断層

千々石断層は全長 14 キロ、最も高い所では海拔 450 メートルであり、半島全体の中で明らかに最大にして最も明瞭な断層の線を呈している。ここでは湧水は見られないものの地中で活動する力に対する理解が深まるだろう。

小浜温泉めぐり

半島で最も高温の温泉が小浜の町で見られる。ここでは日本一長い足湯「ほっとふっと 105」を訪れることができる。地中から湧き出る湯の温度は 105℃だが、冷やされて足元に届く。

雲仙「地獄」めぐり

雲仙の「地獄」がなぜそう呼ばれるのか理解するのはたやすい。空気に、もうもうと立ち上がる熱い蒸気と硫黄の匂いが充満しているからだ。これらの温泉のひとつは金切り声を張り上げているかのような音さえる。ここはこの地方の自然の美しさと歴史をさらに学ぶのに完璧な場所である。

島原湧水めぐり

「水の街」島原は湧水のまわりに築かれた町である。小さな水路が伝統的な地域のいたるところにめぐらされ水を運んでいる、そして豊富な水を利用するため様々な公園や庭園が築かれている。